

鉄道写真 & 撮影地ガイド

メトハチ

1. はじめに

鉄道ファンには「乗り鉄」をはじめ、「模型鉄」や「音鉄」など様々な分類がある。今回はその中でも「撮り鉄」について紹介する。撮り鉄とは、名前の通り鉄道車両をカメラで撮影することを趣味とする人のことを指す。電車の写真を撮ると聞いて「写真を撮るだけじゃん」と思う方々もいると思う。しかし、撮り鉄は順光(逆光ではないこと)であることや最後尾まで写すこと、障害物を写さないことを好んで撮るため、撮り鉄にとっての「きれいに写真を撮ること」は容易にできるものではないのである。ワイパーの向きや車両の向きまで気にする人もいる。

2. 鉄道写真とは

撮影地を紹介する前に鉄道写真を撮るにあたっての基礎知識を紹介したいと思う。まず、鉄道写真には大きく分けて「編成写真」と「風景写真」の2種類がある。編成写真とは、左下の写真のように線路に比較的近いところから車両メインで撮る写真である。それとは対照的に、風景写真とは右下の写真のように山や海などの風景をメインにして撮る写真のことである。



↑ 編成写真の例



↑ 風景写真の例

3. 鉄道写真の撮り方

まず鉄道写真を撮る上で重要なのは、「シャッタースピード」である。電車は高速で動くため、シャッタースピードが遅いとブレてしまう。なので、シャッタースピードを自分で設定できるカメラを使用する場合は1/500~1/2000ぐらいに設定し、自分で設定できない場合は「スポーツモード」や「手ブレ防止モード」などに設定するといいたいだろう。スマートフォンでもシャッタースピードなどを自分で設定できるアプリを使えば撮れないわけではない。

4. 首都圏の撮影地ガイド

また、撮り鉄にとってきれいに撮れる定番の撮影地というものがある。この記事を読んで鉄道写真を撮りたくなった人のために、次に首都圏のおすすめの定番撮影地を紹介したいと思う。ページ数が限られているため、詳細な場所や行き方をここでは紹介できないが、気になった場所があったら自分でインターネットなどを用いて調べてもらいたい。

① ヒガハス

宇都宮線東大宮～蓮田間にある、言わずと知れた超有名撮影地。「東大宮」と「蓮田」の前 2 文字を取ってこう呼ばれる。大宮から僅か数駅で田んぼの広がるロケーションで撮れるため、臨時列車が走るときは混み合う。午前中は左下の写真のように上り列車を。午後は右下の写真のように上り列車を撮ると良い光線で撮ることができる。



また、左の写真のような宇都宮配給と呼ばれる列車が毎週水曜日の 9:50 ごろに通過するので、長期休暇中に狙ってみるのはいかがだろうか。

② オカポン

高崎線岡部～本庄間にある有名撮影地。「岡部」と「本庄」の前 2 文字を取って、こう呼ばれる。最寄り本庄駅だが、徒歩で約 30 分かかるので要注意！この撮影地の特徴は夕方の限界光線を浴びて走る列車を撮ることができること。新津工臨や大宮出場回送があるときは、かなりの人が集まる。また、この撮影地には様々な構図があり自由に構図を組むことができる。ちなみに次ページの写真は鉄橋構図である。この記事を書いている日(8/21)に新潟の 115 系 N33 編成が大宮に入場したが、この車両の出場を撮る際にはこのオカポンが非常に向いていると思う。



↑前ページのオカポン鉄橋

③ヒガジュウ



東北本線の尾久～赤羽間にある有名撮影地。天気の良い夏場の夕方は、下り電車がきれいに撮れる。最寄り駅が東十条駅であるため、ヒガジュウと呼ばれる。駅のすぐ横が撮影地なのですぐ行けることもこの撮影地の特徴である。カシオペアが走るときは多くの人が集まるが、手前には湘南新宿ライン、奥には京浜東北線の線路があり、かなりの密度で運転されているため被ってしまう可能性があるリスクのある撮影地であるが、駅チカで列車の本数も多いため練習にはもってこいであると思う。

5.終わりに

この記事を読んで少しでも鉄道写真を撮ってみたいと思った人は、ぜひ気軽に写真を撮ってもらいたいと思う。最初は難しく感じても、練習していくうちに楽しみへと変わっていくはずだ。しかし、いくらきれいに鉄道写真を撮りたいと思っても立ち入り禁止の場所に入ったり、周辺住民の方々の邪魔になるようなことをしてはいけない。「撮り鉄」という趣味は多くの人の支えによって成り立っているはずであるということを忘れずにいてほしいと思う。このような気持ち構えで撮っていれば自然と写真も上達するはずであることを僕は改めて思った。

6.参考文献

http://kamo.apreed.com/sta_sel.html 駅情報 2019/08/21

(写真はすべて筆者撮影。)